

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 002	提案機関名 二宮町都市部産業振興課
要望問題名 果実及び葉両用オリーブの栽培管理方法について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 二宮町においては、平成24年度からオリーブ栽培を開始し、着実に栽培数・面積を拡大しております。また、県やJA、近隣市町、関連事業所等で構成する湘南オリーブ振興協議会においても、湘南・県西地域の新たな特産物となるよう広域的に栽培普及等を推進しており、今後さらに栽培本数が増加するものと見込まれます。オリーブの商品化につきましては、果実を利用したオイル・新漬けや葉を利用したオリーブ茶等があり、現在、果実用と葉用とに樹木を分けた栽培を行っているところですが、一本の樹木から果実・葉の両方を収穫できるような効率的な栽培方法につきましては、果実用と葉用とでは管理方法・使用できる農薬等が違うため、模索している状況です。つきましては、果実・葉両用に利用できるオリーブの栽培管理方法について研究をお願いいたします。また、オリーブの付加価値向上のため、以前より依頼しております加工方法及び病虫害防除方法についても継続して研究いただきますよう併せてお願いいたします。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) Ⅲ 安全・安心を確保するための技術開発 1 病虫害の診断同定及び発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立 (1) 診断・同定及び防除技術の開発			
対応の内容等 果実と葉の収穫を同一の樹で行う場合、最も問題となるのは農薬取締法上、利用できる農薬の種類の違いと考えられます。例えば、降水量の多い当県で防除が必須となる果実の炭疽病については、現状では葉に利用できる薬剤が限定されるため、高い効果をもつ薬剤が使えません。一方、新しい農薬登録の取得には、他県と協力した複数年度の作物残留試験などに費用と多くの年月がかかります。冬から早春の剪定時の葉のみを利用するのであれば、現状で果実と葉の両方に農薬登録がある薬剤のみを用いた病虫害の防除体系を当所で試行することは可能です。しかし、開花から収穫の時期に葉を利用するとしますと、農薬登録上の収穫前日数の制限から、果実と葉の両方に登録のある薬剤のみを利用して、葉と果実を同一の樹で収穫することは困難です。 なお、オリーブの加工につきましては農業技術センター生産環境部にて試験を引き続き行ってまいります。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			